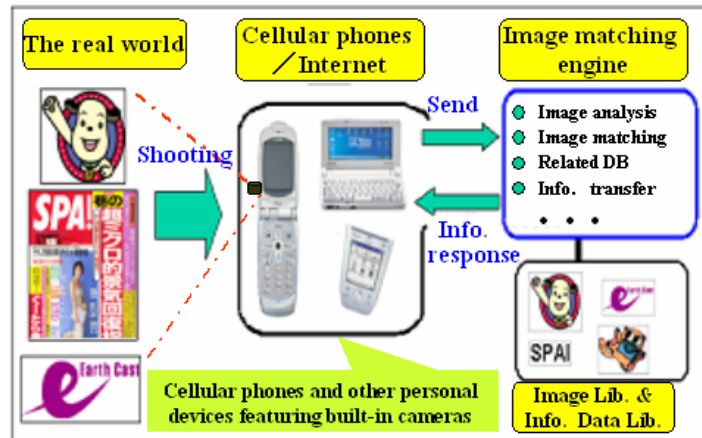


# カメラ付携帯電話によるユビキタス画像処理

- カメラ付携帯電話が普及しており、『いつでもどこでも』使えるユビキタス画像処理のニーズが高まっている。これまでも、文字列認識機能や撮影した画像の台形自動補正機能、2Dバーコード認識機能などが付加されており、今後もより高度な機能の組み込みが期待されている。
- そのような機能の中で重要なものに、“画像検索サービス”が考えられる。ユーザが撮影した画像を処理センターに送ると、それが何であるかを認識した上で、それに関連したサービスを返すサービスである。
- 一般の画像処理とは異なり、撮影者が注目しているものは**画像の中央付近**にあると考えて差し支えないので、その情報を利用しつつ注目図形やパターン、あるいは注目領域を抽出することが考えられる。



1

## 図形・パターン・領域の抽出例

- 図形の例：キャラクタなど。
- パターンの例：雑誌名や商品名など。



ユーザが撮影した画像



階層型領域成長法による抽出例

回転したパターンの抽出例

- 領域の例：注目する衣服領域など。



2